

防災避難訓練（地震・津波）

9月18日（火）、大地震によって津波が発生したことを想定した避難訓練を実施しました。今回は、地域の防災士を招聘し、訓練の様子を見ていただき、その後講話もしていただきました。本校では、万が一に備えて火災避難訓練を含め、年に3回の避難訓練を実施しています。

突然の大きな揺れ。まず落ち
てくるものから頭を守る。



大津波警報発令！
建物の上の階に垂直避難



学部毎に、その後の行動に
ついて説明を聞く。



東大道2丁目自治防災会の
川口峰雄さん。
防災士とは・・・
減災・防災力向上の活動が
期待され、十分な意識・知
識・技術を有すると日本防
災士機構が認証した人。
（東大道町内に4名いる）



【川口さんの講話】

南海トラフの地震が発生した場合、4mの波が大分市沿岸に押し寄せると想定されています。東大道2丁目は海拔7mあるので、津波は届かないし、大分川が溢れても水は来ません。上野の山が崩れた場合でも土砂災害は大丈夫です。しかし、多くの災害が想定外であることから、油断はできません。50年前はこの場所は水田とレンコン畑だったので、液状化が心配されます。道路がどんな状態になるかは分かっていません。災害の時は自分の頭と足を守ることが大切です。

生徒の皆さんに身につけていただきたいことは、自分にふりかかる危害を想定して、どう対応するかを考える力です。たとえば、朝起きて食事中、電車通学中、大分駅から学校までの間を歩いている時、寝ている時・・・そんなときに災害が起きたらどうしますか？誰に連絡しますか？